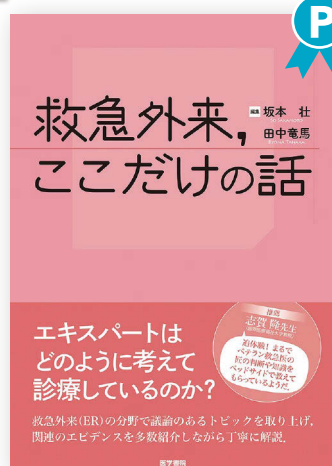


#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1028) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

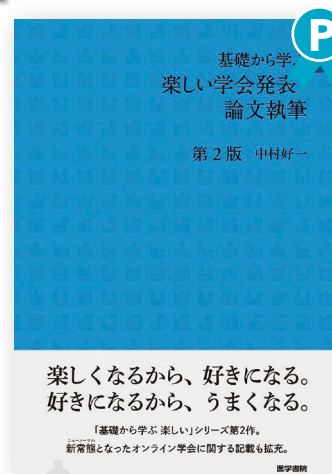


救急外来、ここだけの話

坂本 壮、田中竜馬＝編

定価 5,720 円／B5 判・480 頁／医学書院／2021

救急外来 (ER) の分野で議論のあるトピックをとり上げ、「第一線の医師はどのように考えて診療しているのか (=ぶっちゃけ、どうしているのか)」を解説。関連するエビデンスを豊富に紹介しながら丁寧に論を進めていくスタイルで、救急医療が専門ではない若手医師も本書を読めば“controversial”な状況に強くなる！ 大好評の『集中治療、ここだけの話』に続く、シリーズ第2作。



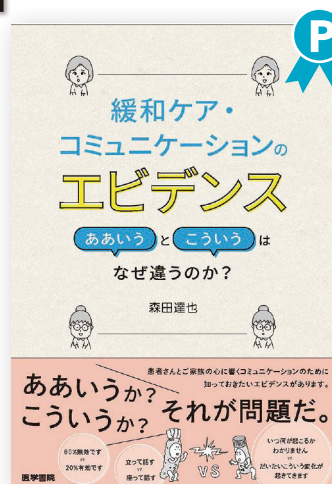
基礎から学ぶ 楽しい学会発表・論文執筆

第2版

中村好一＝著

定価 3,080 円／A5 判・240 頁／医学書院／2021

若手医療関係者や医療系学生に向けて、学会発表や論文執筆のコツを具体的に解説。学会選び、抄録・スライド・ポスターの作成、口演とポスター発表の違い、投稿雑誌選び、投稿規定の重要性、編集委員会とのやりとり、やってはいけない「ベからず集」など、実践的な情報が満載。「基礎から学ぶ」シリーズ第2作。隠れファンの多い脚注も一読の価値あり。新常态 (ニューノーマル) となったオンライン学会に関する記載も拡充。



緩和ケア・コミュニケーションのエビデンス ああいうとこういうはなぜ違うのか？

森田達也＝著

森 雅紀＝執筆協力

定価 2,200 円／A5 判・160 頁／医学書院／2021

「20%効果がある」「80%効果がない」——言い方によって患者の判断が変わる？ 立って話すか、座って話すかで、与える印象が変わる？ 臨床で出会うちょっと不思議な現象や、どうにもうまくいかない場面。その背景にあるのは、人間の心の特性や、個々人が培ってきた価値観の違いかもしれない。緩和ケアだけでなく、心理学・行動経済学の領域で蓄積されたエビデンスが、臨床での困りごとを解決するヒントを与えてくれる！